

第1回 DIA オープンイノベーション シンポジウム

革新的新薬創出のためのオープンイノベーションの
現状と課題、そして今後

2022年12月19日(月) 13:30-17:30
Web開催 (Zoom Webinar)

プログラム概要

DIAオープンイノベーションコミュニティは、日本における医療用医薬品の研究開発におけるオープンイノベーションに関し、産・学・官・患者の4者が対等な立場で議論・検討を行うことを目的に、2022年6月に発足しました。

「オープンイノベーション」は、2003年にハーバード・ビジネス・スクール等で教鞭をとったヘンリー・チェスブロウ教授が提唱した概念です。「組織内部のイノベーションを促進するために、意図的かつ積極的に内部と外部の技術やアイデアなどの資源の流出入を活用し、その結果、組織内で創出したイノベーションを組織外に展開する市場機会を増やすこと」と定義されています。2010年以降には、企業においても成長戦略の手段の1つとして採用されるようになり、社外リソースや知識を取り入れてイノベーションを起こすことが多くの産業に取り入れられるようになってきました。

日本の医薬品開発においても、革新的新薬の創出にむけてオープンイノベーションの必要性が認識されて久しいですが、欧米や中国と比較して、制度、人材、資金いずれにおいてもさまざまな課題があり、エコシステムとして十分に機能しているとは言い難い現状があります。この問題は、特にCOVID-19パンデミック時において経験した通り、日本発のワクチンや治療薬の開発・実用化に遅れが生じることとなりました。革新的新薬がアカデミアやベンチャーから創出されることも少なくない現在、日本が新薬創出国であり続けるためには、アカデミア・ベンチャーをはじめとする様々なプレーヤー・ステークホルダーと機能的な連携を促進する創業エコシステムの構築が急務となっています。政府は、「経済財政運営と改革の基本方針2022」において、創業力の強化によって科学技術力を高めるとともに、本年を「スタートアップ創出元年」とし、オープンイノベーションの鍵となるスタートアップへの強力な支援を実行していくことを宣言しています。

そこで、DIAオープンイノベーションシンポジウムでは、日本の医療用医薬品の研究開発におけるオープンイノベーションに関するさまざまな課題を順次取り上げ議論していきたいと考えています。第1回シンポジウムでは、日本が新薬創出国であり続けるために、オープンイノベーションの観点から我々が何を実践すべきか産・学・官の立場からの提言と共に、講師の先生方と参加者の皆様の間で双方向の活発なディスカッションを設けて対話を深めたいと考えています。

また、今回は現地とWebとのハイブリッド開催を予定しており、遠方の方も参加しやすい形式となっております。オープンイノベーションに関連する業務に携わる方、オープンイノベーションに興味のある方、更に製薬企業等で創薬やアカデミアとの連携に関連する業務に携わっておられる方など、一人でも多くの皆様のご参加をお待ちしています。

<最終的な目標は何か>

日本のオープンイノベーションについて、以下の点を中心に議論・検討を行う

- DIAの特徴・強みを活かしたグローバルでの産学官患の対等な議論
- 日本の創薬に関するオープンイノベーション環境、エコシステムが中心課題
- マッチング中心の既存の枠組みとは一線を画す
- 医療用製品のイノベーションに向けた教育活動および産学官患の立場を超えた情報交換・議論の場を提供
- オープンイノベーション人材の育成・増強



プログラム委員長

慶應義塾大学病院
大村 光代

プログラム委員

鹿児島大学
近藤 智子

日本医科大学
松山 琴音

BeiGene Japan合同会社
永岡 真

株式会社リアルディスカバリーアウトドア
小澤 郷司

ファーマビジネスコンサルティング
櫻井 満也

ソシウム株式会社
田口 一実

アステラス製薬株式会社
上村 成章

オペレーションチーム

国立がん研究センター中央病院
佐々木 哲哉



DIA Japan
Nihonbashi Life Science Building 6F,
2-3-11 Nihonbashihoncho, Chuo-ku, Tokyo 103-0023 Japan
Tel: +81.3.6214.0574 Fax: +81.3.3278.1313 Email: JapanAnnual@DIAGlobal.org

Drug Information Association

Global Center: Washington, DC | Americas | Europe, Middle East & Africa | China | Japan | India

DIA volunteers, members, and staff provide a comprehensive catalogue of conferences, workshops, training courses, scientific publications, and educational materials, throughout the year, all around the world.

DIAGlobal.org

プログラム 12月19日(月) 13:30~17:30

13:30 - 13:40 開会の挨拶 DIA紹介・Open Innovationコミュニティの設立と背景等

DIA Japan
長谷川 畔

DIA Open Innovation プログラム委員長/慶應義塾大学病院
大村 光代

13:40 - 15:40 第1部：アカデミア創薬の成功例

座長
日本医科大学
松山 琴音

アカデミア発の創薬は、日本においても少しずつ社会実装に向けた取り組みがなされているが、まだまだ米国と比較するとその成功例が少ない。本シンポジウムでは、11月22日に緊急承認を取得した、日本初の新型コロナウイルス感染症治療薬ゾコーバ®と、2017年に先駆け指定制度薬事承認第1号となった医療機器チタンブリッジ®につき、アカデミア及び企業の双方の立場で、創薬から基礎研究、臨床試験から薬事承認までを振り返り、アカデミア発創薬の課題や改善点につき議論する。

(1) コロナ経口治療薬 ゾコーバ®

プロテアーゼ阻害薬エンシトレルビルによるSARS-CoV-2抑制機構の解析

北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所、ワクチン研究開発拠点

澤 洋文

コロナウイルス薬の研究開発（アカデミアとの共同研究の重要性について）

塩野義製薬株式会社

佐藤 彰彦

(2) 内転型痙攣性発声障害用医療機器 チタンブリッジ

新規医療技術と発声障害治療器具「チタンブリッジ」の実用化研究

名古屋市立大学耳鼻咽喉・頭頸部外科

讃岐 徹治

会社使命-"必要なのに顧みられない医薬品の提供"-から"医薬品・医療機器"への変革

ノーベルファーマ株式会社

島崎 茂樹

15:40 - 15:50 ブレイク

15:50 - 16:30 第2部：「アカデミア発の革新的新薬創出におけるAMED医薬品開発事業の役割～その現状と課題、そして今後～」

座長
日本医科大学
松山 琴音

日本医療研究開発機構 (AMED) では、革新的なアカデミアシーズの実用化を目指し創薬段階における基盤構築から、応用研究、更には臨床開発まで多くの研究課題に対して支援活動が展開されており、非臨床・臨床POCの獲得や企業への導出が進められている。プロジェクトとしての推進体制は整備されてきたものの、革新的な医薬品開発の世界的な潮流がグローバル規模で実施されている一方で、AMED開発事案のほとんどが国内開発であること、また、医療現場で必要とされる承認済医薬品の効能追加がアカデミアが中心となり進められていること等、種々の課題も見えてきている。アカデミア発革新的新薬創出における日本の現状や企業との連携について議論する。

山梨大学
岩崎 甫

16:30 - 17:10 第3部：パネルディスカッション

座長
山梨大学
岩崎 甫
ノーベルファーマ株式会社
島崎 茂樹

第1部、第2部の登壇者に加え、「官」の立場から独立行政法人医薬品医療総合機構 (PMDA) にも参画頂き、日本におけるアカデミア発創薬の現状と課題、その解決方法に関して議論する。

独立行政法人 医薬品医療総合機構
河野 典厚

プログラム 12月19日(月) 13:30~17:30

17:10 - 17:30 Open Innovationコミュニティ 今後の展開・閉会挨拶

DIA Open Innovation Community Lead / BeiGene Japan合同会社
永岡 真

会議参加申込書

一般社団法人ディー・アイ・エー・ジャパン

Fax:03-3278-1313

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11

日本橋ライフサイエンスビルディング6F

Tel: 03-6214-0574

第1回 DIAオープンイノベーションシンポジウム [カンファレンスID #22341]

2022年12月19日(月) Web開催 | Zoom Webinar

◆参加申込方法

DIAウェブサイトのRegisterよりお申し込み頂くか、この申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはメール添付Japan@DIAglobal.orgにてお申し込みください。受理後、10営業日以内にEメールにて申込受領書を送付いたします。

◆参加費用 (該当する口にチェックしてください)

会員資格が失効している方および非会員の方は、会員登録(更新)することにより、会員価格にてご参加いただけます。会員資格はお支払いいただいてから翌年同月末まで1年間有効です。また、DIA各種機関紙の入手、DIAウェブサイトの会員専用ページへのアクセス等、種々の特典が得られます。

不明な点がございましたら、ディー・アイ・エー・ジャパンまでお問い合わせください。

①年会費

非会員の方及び会員資格が失効している方で、会員登録をされる場合は希望する年会費の欄に印を入れてください。

- * 早期割引価格は、現会員の方または会員登録と同時に申し込みされる方のみ適用されます。会員資格が失効している方及び非会員の方は、ぜひこの機会にご登録ください。
- ** アカデミア会員資格にお申し込みの方は、本申込書をディー・アイ・エー・ジャパンまでFAXもしくはメールにてお送りください。

Membership (有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 27,346	(税込)
2-Year Membership (有効期間:2年間/10%割引)	<input type="checkbox"/>	¥ 49,223	(税込)
Academia Membership ** (対象:大学関係・医療従事者、有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 20,205	(税込)
Academia Membership ** (対象:大学関係・医療従事者、有効期間:2年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 36,369	(税込)

②参加費

所属カテゴリーと会員資格の有無により異なりますので、該当欄に印を入れてください。

* 若手割引でのお申込みは、専用の申込書をご使用下さい。

			登録料(税込)	
企業	*早期割引(11月28日まで)	<input type="checkbox"/>	¥15,950	
	11月29日以降	<input type="checkbox"/>	¥17,600	
	政府 非営利団体	*早期割引(11月28日まで)	<input type="checkbox"/>	¥7,480
		11月29日以降	<input type="checkbox"/>	¥8,250
大学関係 医療従事者	*早期割引(11月28日まで)	<input type="checkbox"/>	¥7,480	
	11月29日以降	<input type="checkbox"/>	¥8,250	
非会員	一般	<input type="checkbox"/>	¥22,550	
	政府・非営利団体	<input type="checkbox"/>	¥13,750	
	大学関係・医療従事者	<input type="checkbox"/>	¥9,900	

③合計金額(①+②):

合計 _____ 円

※最終確定金額はDIA Japanからお送りする受領書メールにてご確認ください。

DIA Japan 使用欄	
Date	
No.	
受領書 送付	
Invoice	
入金	

* 参加のキャンセルは、お申し込み受理後、2022年11月21日までは手数料として一般会員・非会員とも10,000円、政府/大学関係者については会員・非会員とも5,000円を申し受けます。それ以降のキャンセルについては参加費全額を申し受けますのでご注意ください。同一会社からの参加変更は可能ですが、その際はお早めにディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください。(会員資格の譲渡はできませんので、非会員としての参加費を申し受ける場合があります。)参加をキャンセルされる際には、必ず書面にてディー・アイ・エー・ジャパンまでご連絡願います。

* 本年会では、DIAの宣伝活動に使用する目的で、開催期間中に参加者を含む映像・写真を撮影することがあります。本年会の参加者は、DIAが記録した映像・写真等について、DIAの宣伝資料、出版物及びインターネット等への掲載その他一切の利用に係る権利(肖像権、パブリシティ権等を含みます)はDIAに帰属することを認め、DIAが無償で任意に利用できることを許諾するものとします。

* DIA主催の会議には、必ず登録者ご本人にご参加いただくよう、お願いしております。

◆お支払方法

ご希望の支払方法にチェックを入れてください。

[支払方法] 銀行振込 請求書を送付しますので、その案内に従って振込手続きを行ってください。

クレジットカード 使用可能クレジットカード(どちらか1つにチェック) VISA MasterCard JCB

カード有効期限(mm/yy) _____ カード番号 _____

カードご名義 _____ ご署名 _____

ご入金の際は、ご依頼人の欄に必ず参加者名および会社名を記載してください。同一会社で複数名の参加費を同時に振り込まれる場合は、書面にて参加者名と振込日をディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください。振込に関する手数料は、振込人負担でお願いいたします。

アルファベット(英語)でご記入ください

Last Name (姓) Dr. Mr. Ms. First name (名) Company

Job Title Department

Address City State Zip/Postal Country

Email (必須) Phone Number (必須) Fax Number

[DIAが取り扱う個人情報について] お申し込みいただいた個人情報はDIAからの会議案内送付等の目的に使用させていただきます。また当日は、ご参加いただく皆様の会社名または組織名とご氏名を記載したリストを参加者・講演者・関係者(プログラム委員)に限り配布する場合があります。本申込書の提出をもって以上の個人情報のお取扱いにご同意いただいたものと解釈いたしますが、ご同意いただけない場合はDIA Japanまでご連絡ください。